

『郷土を愛し、理解する活動（七宝焼づくりを通して）』

宝小学校

1 目的

(1) 宝小学校区にある七宝町遠島地区の伝統工芸品「七宝焼」の制作や学習を通して郷土の伝統工芸のすばらしさを理解するとともに、郷土を愛する気持ちを育てます。

6年生の卒業時には、卒業制作として七宝焼の共同作品を作り、校内に展示することで、卒業後も母校の伝統に誇りをもち続けます。

(2) 「道徳」「社会」「図画工作」「総合的な学習の時間」を中心にした横断的な授業を展開することで、郷土学習をより効果的なものとします。

2 内容

(1) 【七宝焼体験】（3・4年）

3・4年生が七宝焼アートヴィレッジを訪問し、七宝焼の歴史や制作の概要を学習し、3年生は銅素地、4年生は白素地で七宝焼の小物を作成しました。作品は校内と七宝焼アートヴィレッジでも展示し、保護者・地域の方に見ていただきました。

(2) 【七宝焼学習会】（5年）

5年生が七宝焼アートヴィレッジを訪問し、講師の方に教えていただきながら、制作過程の「銅版打ち」「銀線貼り」などを体験しました。普段見ることができないバックヤードも見学させていただき、七宝焼への理解を深めることができました。

また、遠島地区にある1軒の窯元を訪問し、伝統的な方法で七宝焼を制作する職人の方の技にふれ、話を聞くことにより、地域の伝統工芸に尊敬の念を抱くことができました。

(3) 【七宝焼教室・卒業制作】（5・6年）

5・6年生が、地域の七宝焼文化クラブの方を講師として招き、釉薬のせから窯入れまでの過程を体験しました。5年生は各プレートに個人作品を作成し、6年生は5年生での経験をもとに卒業制作として、共同作品を作り上げました。卒業制作の作品は卒業式後にアートヴィレッジでも展示し、保護者・地域の方に見ていただきます。



【令和2年度卒業制作】

3 評価

3年生から6年生まで、4年間継続して七宝焼を学ぶことで、七宝焼に興味・関心を持ち、制作への理解を深め、技能を高めることができました。また、七宝焼を制作する職人の方の作品づくりを間近で見て話を聞くことによって、職人の方の七宝焼への思いを感じることができました。

4 課題

地域の伝統工芸品である七宝焼の学習を通して学んだことを学年ごとにまとめ、次の学年の学習につなげていきたいと思えます。また、学習の中で児童が感じたこと、考えたことを保護者や地域の方に発信できるようにしていきたいと思えます。

1 目的

- (1) 学習の中に様々な体験活動を取り入れ、地域の人々とふれあい・学びあうことにより、豊かな心を育てると共に、地域との連携を深め、コミュニティスクールの取り組みを進めます。
- (2) 外部講師を積極的に招聘して様々な立場の人たちとふれあうことで、幅の広い学習活動を展開し、児童のコミュニケーション能力を向上させると共に、自信をもたせ自己肯定感を高めます。
- (3) 校内現職教育等を計画的に進め、教師力を向上させ、学びの質を高めます。

2 内容

(1) 【異学年交流】（全学年）

1年生から6年生の異学年で班をつくり、金曜日のなかよしタイムで交流し、ふれあう活動を行いました。ドッジボールなどで遊んだり、スポーツ大会の練習をしたり、卒業する6年生へのメッセージカードを書いたりしました。温かい雰囲気の中で、1年生から6年生で交流することができました。

(2) 【宝っ子タイム】（全学年）

温かい人間関係づくりや対話的な学びにせまる基礎として、ソーシャルスキルトレーニングと構成的エンカウンターの要素を取り入れた活動を行いました。

(3) 【小中連携】（6年）

ア 小・中交流会（6年）

6年生が七宝北中学校の芸術鑑賞会に参加し、愛知室内オーケストラの演奏を鑑賞しました。今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、中学生との自作した弁当での会食は中止となりましたが、今後も中学生との交流を深めていきたいと思えます。

イ 歌声で心をつなぐ学校（6年）

合唱指導の講師を招き、発声方法や音の重なり・響きを学びました。教師も合唱の指導方法を学ぶことができました。今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、中学生との合唱交歓会は中止となりましたが、中学校に入学してから、合唱指導で学んだことを生かしてほしいと思えます。

(4) 【防災教室】（全学年）

あま市防災ネットの方を講師として、防災教室を行いました。緊急地震速報を聞いての身の安全確保から始まり、1年生は「大事な防災用品」、2年生は「防災クイズ」、3年生は「ゴミ袋でカップ作り」、4年生は「新聞紙でスリッパ作り」、5年生は「毛布を使った簡易担架」、6年生は「応急処置」など、話し合ったり、製作したりしながら、学びあうことができました。



【防災教室】

(5) 【ハッピートーク】（5年）

ハッピートークアカデミー協会の方を講師として招き、人との関わりに必要なコミュニケーションスキルについて学びました。「友達と仲良くなる言葉」「自分を好きになる言葉」「勇気が出る言葉」などを考える活動を通して、自己肯定感を高めるよい機会となりました。

3 評価

異学年の児童や中学生、地域の方、外部講師の方など、様々な人との交流による体験や学習は、単学級の児童にとって豊かな心を育み、コミュニケーション能力を高めるよい機会となっています。

4 課題

各体験学習後の振り返りをしっかり行い、各教科・道徳の学習と結びつけながら、継続した学習活動を展開していきたいと思えます。

